

私共事業団のコーラス部門では、徐々に大きな話題性あるプログラムが2月5日(日) 杉田劇場でありました。かつて「もののけ姫」の主題歌で一世風靡したカウンタートナーの米良美一さんと共演でした。こちらが緊張しないだろうかと思う心配をよそにジュニアとシニア男女コーラスメンバーは変わらず本番に強いステージマンでした。大分前ですが、横浜☆男声合唱団は神奈川県民大ホールで五木ひろしのバックコーラスで出演し、みなとみらい大ホールでは高木東六先生のオペラ「春香」の民衆の役で振り付け入りで歌いました。アマチュア合唱団としては恵まれていきます。ジュニアコーラスは、県民ホール主催の数々のオペラに出演したり、MMホールのこどもの日コンサートやインターコンチネンタルホテルのクリスマスキャロルなど素晴らしい機会を頂いていますが、皆さんが舞台で羽ばたき成長していることをその度に実感しています。また、感謝の気持ちをお忘れずにと、今回もお母様方が瞬間に斬新的なデザインの色紙を用意され、登壇者全員がお礼のメッセージを書いて、舞台リハで米良さんと中村館長に差し上げました。お二人共、いつまでも大事にしますと喜ばれていました。こちらにもよき伝統に感謝です。

さて、先月号で書いた昭和15年・皇紀2600年、私が10歳の時のお祝いに家のお店に転がっている木材の半端物でお祝いの塔を作りました。16段の箱のようなものを重ね四隅に小さい横浜市の旗を飾り、塔の中心に少々大きな国旗を建てました。素人ながら上手く作ったものと学校で飾って頂くことになりました。お祝いの日に、講堂に飾られ塔を紹介され全校生が「金鷲輝く日本の栄えある光身に受けて、今こそ歌え大御神。紀元は2600年」と歌ったことを思い出します。塔はその年の最終日まで区役所入り口に飾られていたのです。今思い出すとよくやったなと思います。

戦時中有名であった飛行機「零戦」のゼロは皇紀2600の末尾のゼロからのネーミングということを知りました。名前は得てして簡単な所から来ていて、それになり有名になるのですね。さてもう一つ、戦後初めての「旅客機」は、ご存じの方もおられると思いますが、「YS11」といいます。横浜の杉田に「日本飛行機」という会社があってそこで作られたものです。飛行機のネーミングをどうするかを考えましたが、アイデアが出なくて横浜の「Y」、杉田の「S」、そして11日にお披露目するので「YS11」という名前になったと聞いています。

私の中学生時代、磯子の八幡橋沖から「水上飛行機」が離発着していました。広い海原が滑走路代わりになるのです。丁度近くに私が所属していたY校ボート部のエイトという8人乗りの艇庫があったのでその離着陸する飛行機を何回も見ることがあります。今でも旧海軍航空隊跡地の表示がありますし、海軍神社もあります。実は私は現在前述の日本飛行機を眼下にする丘の上に住んでいます。かつての横浜海軍航空隊も真下一望に、石川島播磨には修理の為に船が停泊しています。晴れた日には、海ほたるや、木更津も見えます。また、玄関に出ますと今は雪を頂いた美しい富士山が望めます。景色はいいのですが、マンションの入り口から自宅玄関まで往



2023年2月5日(日)米良美一さんと歌う「もののけ姫」 杉田劇場にて

写真提供: 犬飼裕一氏

今後のスケジュール

★3/12(日)
かながわミュージックアワード 受賞団体公演
及び表彰式/表彰団体 (第2位)
横浜市民こどもミュージカル
場所: 県民共済みらいホール
時間: 14:00~17:00
観覧: 招待(申込終了しました)

★5/5(金)
こどもの日コンサート
場所: みなとみらい大ホール
時間: ①13:00 ②15:30
各回1時間
料金: 一般 2,500円
4歳~高校生以下 1,500円
0歳~3歳 無料

★6月25日(日)
第36期
赤い靴ジュニアコーラス定期演奏会
場所: 杉田劇場
時間: 14:00 (開演予定)
観覧: 全員ご招待(事前申込制)

★7月30日(日)
中区ダンスフェスティバル2023
場所: 関内ホール・大ホール
※広報よこはま中区版3月号にて
出演者募集記事掲載中

★8/26(土)・27(日)
横浜市民こどもミュージカル
場所: 関内ホール・小ホール
※広報よこはま中区版4月号にて
出演者募集記事掲載予定

2023年2月28日 団長 松永春

復106段を上がり下りしています。家の前は急坂なので雪が降ったら動かせません。
高いところが好きで飛行学校に入って、毎日グライダー訓練をしている内にやっぱり操縦生になつて良かったと思うようになりました。地上5m、幅50cmの平均台も渡ることが怖くて動けなかったのですが、仲間がでるのだから自分が出来ない筈はないと思うようになり、いつの間にか両手を水平にし、片足で暫く立つ等美しく動けるようになりました。床では、マット上の自転車の課題があり、はじめは仲間のヘルプが必要なのですが、段々と普通に自転車ができたのです。そして円形のフープも不思議な位格好良く方向転換もできたのです。これらの訓練から他の人にも出来る事は自分にもできると自信が持てたのです。次はグライダーに乗るのですが、大勢で引くゴムベルトが外れるとパチンコ玉の様にアツと思う間に地上の人が小さく見えるほど飛び出すのです。これも段々と慣れて気にならなくなつたのです。また、落下傘降下があり、身体に綱をつけて高所から飛び降りるとガクンと綱が身体に食い込むのです。相当なショックと痛みがありました。そしてマットに転がる訓練になり、全て無事に終えました。一年経つて上級学校の宇都宮陸軍飛行学校に入りました。いきなり操縦席に乗つての訓練が2ヶ月も続いたのです。そのまま操縦桿を後ろに引けばもう大空です。数ヶ月後には訓練が終わります。後には戻れないと思いましたが、学科で操縦したい飛行機の種類を聞かれました。戦闘機を選択する者がほとんどだったのです。次が爆撃機でした。偵察機は私一人でした。実戦にはならないが、偵察は味方の犠牲を止めることができると思つたからです。逆に言うならば苦勞して得た技術を失いたくないからなのです。「要するに命を落とすのがいやなんだ。そういう奴が一人くらいいいいな」と教官は笑つて言いました。そして「気象の講義を受けろ」と言われ、その教官にお会いしたらY校の4年先輩と分かり身内に会った気がして嬉しかったことを覚えていきます。「他の人ができることは、自分も必ずできる」大切なことを学んだ一時期です。NHKの朝ドラ「舞いあがれ！」のヒロインはパイロットを希望しながらも次のステージで奮闘していますね。人生の道は願っている方向に開けていくと信じています。